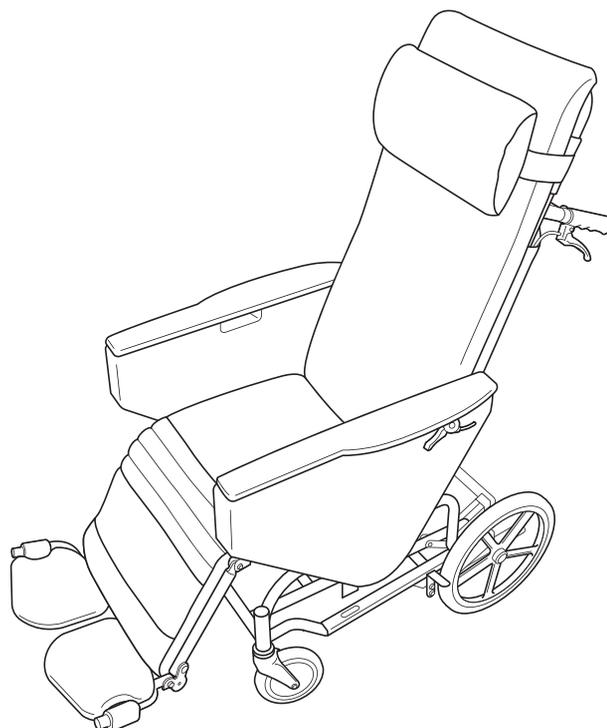


取扱説明書

車いす KK-T626HB/T636HB

保証書付

7F08687000A4



まえがき

このたびは、車いすKK-T626HB/T636HB(以下、車いす)をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、車いすを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- 車いすをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除き、この「取扱説明書」では表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接パラマウントベッドまでお問い合わせください。

販売元：パラマウントベッド株式会社
製造元：株式会社松永製作所

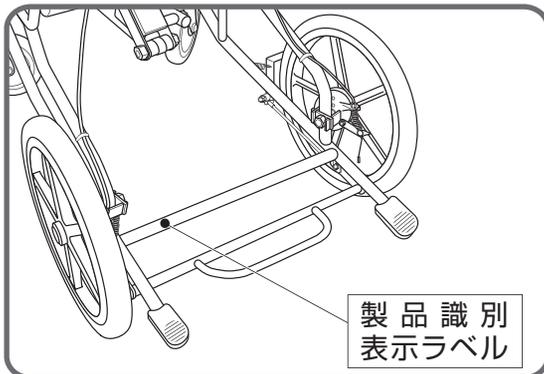
目次

はじめに	1
安全にお使いになるためのご注意	2
型式別寸法一覧	4
各部名称	4
機能説明	6
組立方法	7
安全にお使いになるための使用方法	9
張り調整ベルトの調整	9
フットブレーキ	9
フットサポート	10
フットサポートの長さ調節	11
アームサポート	12
制動用ブレーキ	13
リクライニングの操作方法	13
ティルティングの操作方法(KK-T636HBのみ)	14
リフトアップの操作方法(KK-T636HBのみ)	15
使用方法	16
介助の方法	16
もしこんなトラブルが発生したときは	17
車いすのお手入れの方法	18
空気圧管理不要タイヤ メンテナンス方法	19
廃棄方法	19
アフターサービスについて	20
保証書	

はじめに

使用目的 この車いすは、ご家庭、医療施設および高齢者施設で使用されることを目的に作られています。ご利用になる方の体格や身体の状態にあった車いすをお選びいただき、使用してください。

健康をそこなう恐れがあります。そのような場合は、購入されたお店にご相談ください。また、保証書が付いておりますので、紛失しないように大切に保管してください。



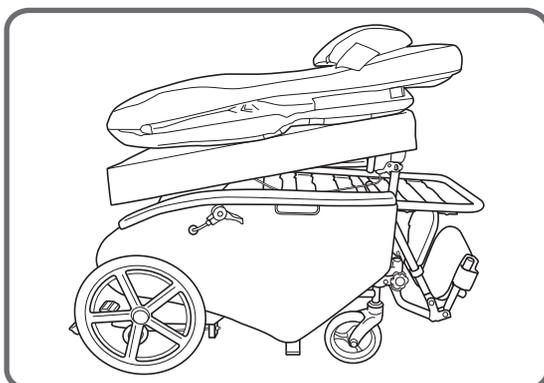
購入された製品の型式をご確認ください。型式は、左記位置に表示してあります。

以下の物が同梱されているか、確認してください。

付属品



〈梱包状態〉



箱から出した時に表面のキズ、フレームのゆがみがないか、あるいはダンボール箱にへこみ・キズがないか確認してください。異常があれば、お買い上げの販売店、または、パラマウントベッド(P.20参照)までご連絡ください。

安全にお使いになるためのご注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。



警告

(禁止)



しては
いけない

■故障、異常のあるときは、使用しないでください。
転倒・転落事故等の原因となります。

■改造しないでください。

改造によって車いすの部品の破損、脱落などで安全性が低下して、転倒・転落事故等の原因となります。

■車いすのシートの上で立ち上がらないでください。

転倒・転落事故等の原因となります。

■車いすに乗る時、降りる時に絶対にフットサポートの上で立ち上がらないでください。

車いすがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

■車いすへの乗せ降ろし、ベッドなどへの移乗時には必ずフットブレーキを左右両方ロックしてください。
車いすが動き、転倒事故等の原因となります。

■アームサポートのロックが確実にされていることを確認してください。

アームサポートの高さが急に変わり、手などをはさんだり、転落などの事故等の原因となります。

■フットサポートが固定されているか、確認してから使用してください。

フットサポートが脱落し事故等の原因となります。

■フットサポートの高さは地面より5cm以上でご使用ください。

路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っかかり急に車いすが止まり、転倒事故等の原因となります。

■道路の通行は、必ず右側を通行してください。(歩道がある場合は歩道を通行してください。)

交通法規を守って走行してください。(車いすは歩行者扱いです。)

■側溝の格子蓋や踏切などでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいで行ってください。
車輪が溝にはまって転倒・転落事故等の原因となります。



注意

(禁止)



しては
いけない

■スピードをつけて(勢いをつけて)、段差を乗り越えないでください。

乗っている方がバランスを崩し、車いすから転落する危険があります。

■バックサポートパイプやグリップのみで、キャストを上げないでください。

バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、車いすが破損し、転倒・転落事故等の原因となります。

■ストーブなど火気の近くに置かないでください。

シートが燃え火災の原因となります。

■車いすで荷物を運んだりしないでください。

■急ブレーキをかけないでください。

車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。

■リクライニングした状態で、バックサポートの上に乗らないでください。

車いすがバランスを崩し、転倒事故等の原因となります。また、バックサポートパイプが曲がったり故障の原因となります。

(禁止)



しては
いけない

- アームサポートを持って、車いすを持ち上げないでください。
ケガ、転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。
- 車輪が回転しているときは、手や指を差し込まないでください。
手や指をはさんで、ケガをする原因となります。
- バックしながら、急停止しないでください。
転倒事故等の原因となります。
- 使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。
パイプが外れたりして、転倒・転落事故等の原因となります。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。
バランスが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

- リフトアップ操作時には車いすから手を離さないようにしてください。
車いすが動き危険です。
- 車いすに人が乗っている状態でアームサポートの高さ調整を行う場合には、手や衣服などはさまっ
ていないか確認しながら操作してください。
手や足などケガをする恐れがあります。
- 車いすに人が乗っている状態でリクライニング操作を行うときには、乗っている方の体重が後方に
かかるので、しっかりと支えてから行ってください。
バックサポートパイプなどで、介助者の顔などを打ったり、車いすが後方に転倒し、ケガをする危険があります。
- 車いすに人が乗っていない状態でティルティング操作を行うと、ティルティングレバーを握るだけ
で、バックサポートが自動的に起き上がりますので、注意して操作してください。
バックサポートパイプなどで、介助者の顔などを打ちケガをする危険があります。
- 車いすに人が乗っていない状態で、ティルティングの倒す操作を行うと、非常に重くなりますが、
勢いをつけず、ゆっくり確実に支えて操作してください。
キャストが浮き、後方に転倒する場合があります。
- ブレーキペダルとリフトアップバーを間違えないように注意してください。
リフトアップ操作時にはフットブレーキが効かず車いすが動きます。
- バックサポートを起こしてから段差を乗り越えるようにしてください。
乗っている方がバランスを崩し、車いすから転落する危険があります。
- フットサポートの上に使用者の足が乗っているか、確認して走行してください。
使用者の足がキャストや地面に触れてケガをする危険があります。
- 移動中は使用者のつま先が壁などの障害物に当たらないように確認してください。
使用者が足をケガする危険があります。
- 必ず車いすをしっかりと支え、ゆっくりと走行してください。また、急な坂道を下る時は、
下り坂の下側に立ち、確認しながらゆっくりと後ろ向きに走行してください。
乗っている人が転倒・転落事故等の原因となります。
- 側溝の格子蓋、踏切のレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。
車いすが急に止まり乗っている人の体が前方に傾き、転落・転倒事故等の原因となります。
- 介助者の方は、人が乗った状態でリクライニングしたまま、放置しないでください。
- 乗り降り、駐車は平坦な場所で行ってください。
車いすが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。
- 介助者は、制動用ブレーキレバーを両側同時にかけてください。
バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。
- 保管する場所には十分注意してください。
長期間使用しなかった場合には、各部の点検をしてから使用してください。
- 張り調整ベルトに糸くずや汚れが付いていないか確認し、付いている場合は取り除いてください。
粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転倒・転落事故等の原因となります。

型式別寸法一覧

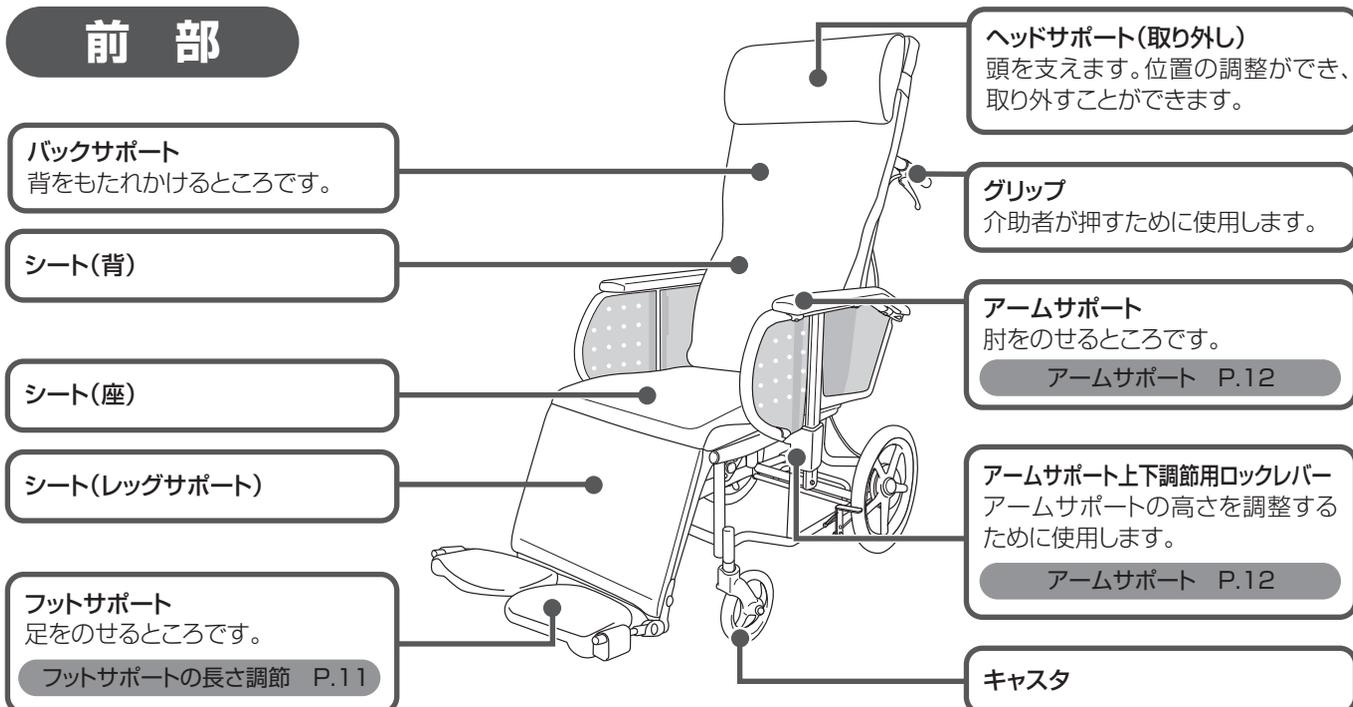
KK-T626HB

型式	キャスタ (インチ)	主輪 (インチ)	前座高 (mm)	シート幅 (mm)	シート奥行 (mm)	アームサポート高① (mm)	バックサポート高 (mm)	フット長 (mm)	全長 (mm)	全高 (mm)	全幅 (mm)	リクライニング 角度(°)	重量 (kg)
KK-T626HB	6	12	420	400	410	30,230,250,270,290	860	325,345,365	1180	1230	535	100~170	29.0

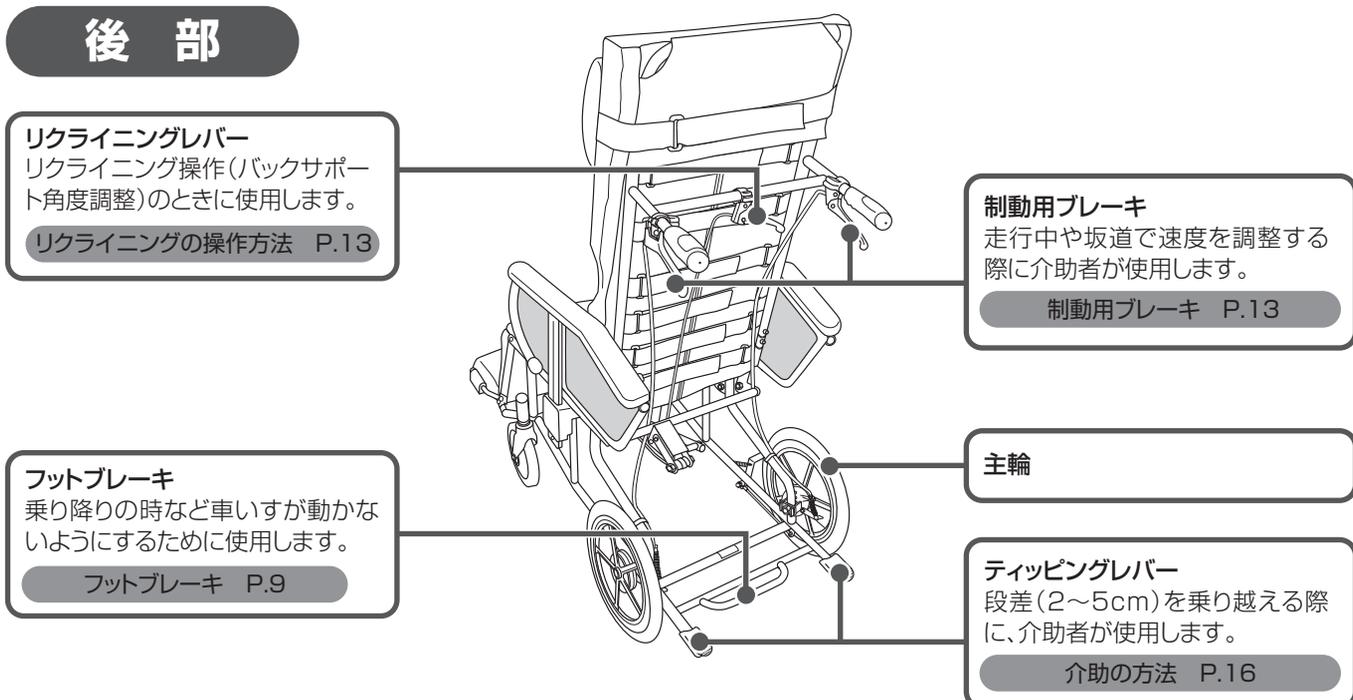
※リクライニング:100°での数値です。①20mmピッチ5段階に調節可能です。
※最大使用者体重は75kgです。

各部名称

前部



後部



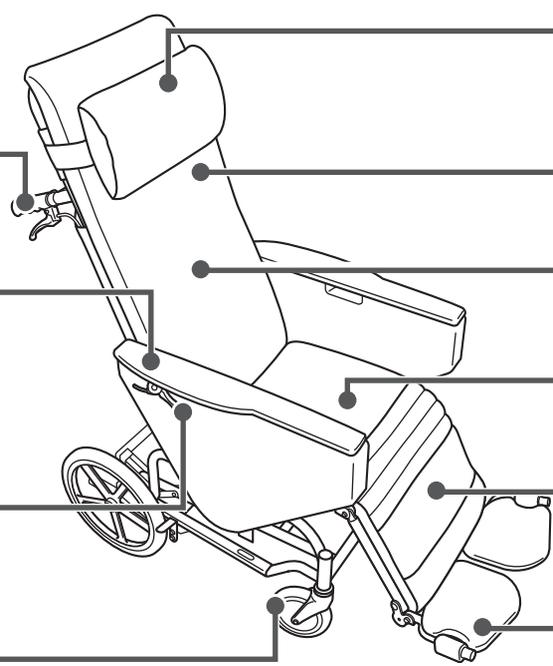
KK-T636HB

型式	キャスタ (インチ)	主輪 (インチ)	前座高 (mm)	シート幅 (mm)	シート奥行 (mm)	アームサポート高① (mm)	バックサポート高 (mm)	フット長 (mm)	全長 (mm)	全高 (mm)	全幅 (mm)	リクライニング 角度(°)	ティルト 角度(°)	重量 (kg)
KK-T636HB	6	12	420	400	410	60~310 (11段階)	860	325,345,365	1180	1230	625	100~174	0~30	39.9

※リクライニング:100°・ティルト:0°での数値です。①25mmピッチ11段階に調節可能です。
 ※最大使用者体重は75kgです。

前部

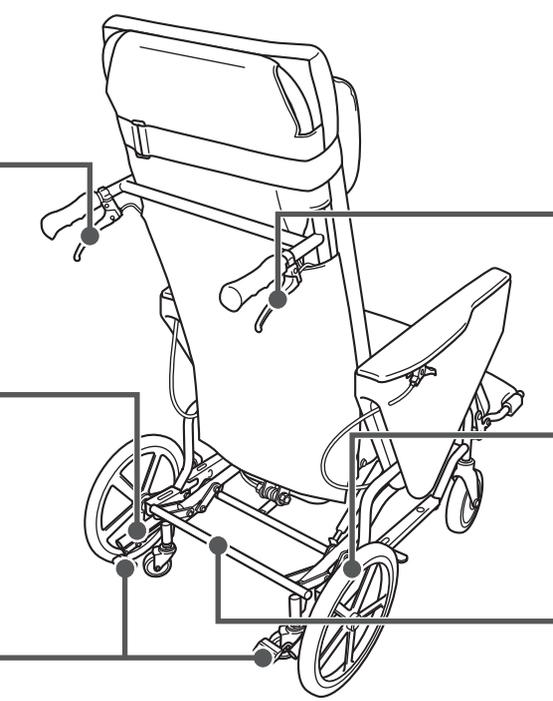
- グリップ**
介助者が押すために使用します。
- アームサポート**
肘をのせるところです。
アームサポート P.12
- アームサポート上下調節用
ロックレバー**
アームサポートの高さを調整する
ために使用します。
アームサポート P.12
- キャスタ**



- ヘッドサポート(取り外し)**
頭を支えます。位置の調整ができ、
取り外すことができます。
- バックサポート**
背をもたれかけるところです。
- シート(背)**
- シート(座)**
- シート(レッグサポート)**
- フットサポート**
足をのせるところです。
フットサポートの長さ調節 P.11

後部

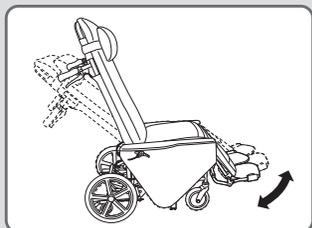
- ㊦ リクライニングレバー (グレー)**
リクライニング操作(バックサポー
ト角度調整)のときに使用します。
リクライニングの操作方法 P.13
- ティッピングレバー**
段差(2~5cm)を乗り越える際
に、介助者が使用します。
介助の方法 P.16
- フットブレーキ**
移乗時など車いすが動かないよう
にするために使用します。
フットブレーキ P.9



- ㊧ ティルティングレバー (オレンジ)**
ティルト操作(座面角度調整)の
ときに使用します。
ティルティングの操作方法 P.14
※乗車状態でないと、ティルト操作が
重くなります。(倒す場合)
- 主輪**
- リフトアップバー**
リフトアップ(主輪を浮かせる)操
作時に使用します。
リフトアップの操作方法 P.15

機能説明

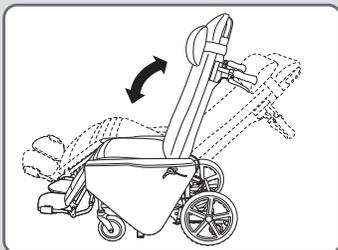
〈リクライニング〉 共通



バックサポート角度を調節することができます。フット・レッグサポートは連動します。

〈ティルティング〉

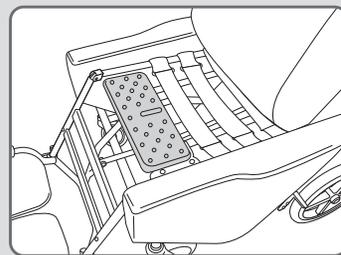
KK-T636HBのみ



バックサポート角度を保ったまま座面の角度を調節することができます。

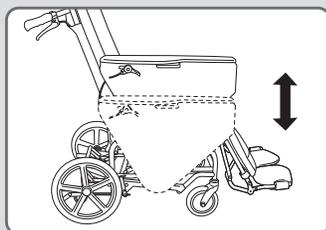
〈座奥行調整〉

KK-T636HBのみ

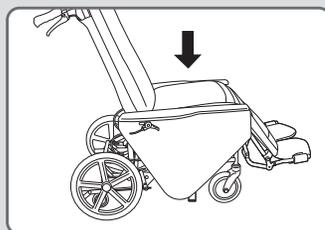


使用者の体格に合わせて座奥行を調整することができます。

〈アームサポート〉 共通

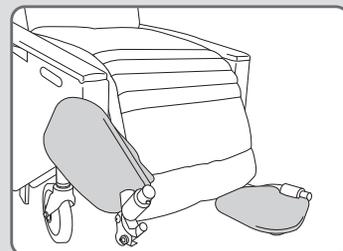


アームサポートの高さを調節ことができ、使用者の体格に合わせることができます。



車いすへの移乗の時にアームサポートが邪魔にならないように、座面の高さまで下がります。

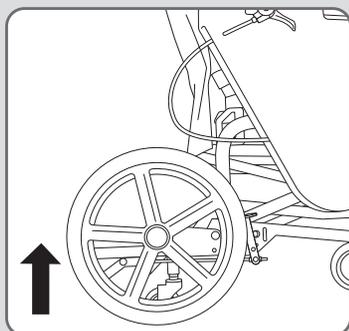
〈フットサポート〉 共通



車いすへの移乗の時にフットサポートが介助者の邪魔になりません。

〈リフトアップ〉

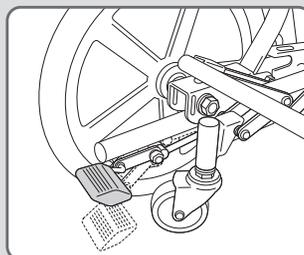
KK-T636HBのみ



車いす主輪を浮かせることで、真横にも移動できます。ベッドなどへ近づく時に何度も切り返す必要がありません。また、狭いスペースでも小回りが効きます。

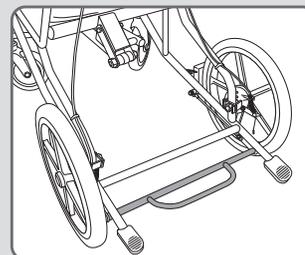
〈フットブレーキ〉

KK-T636HBのみ



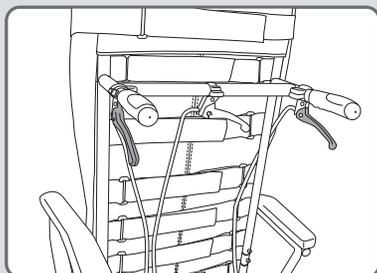
介助者が操作しやすい足踏み式のブレーキです。

KK-T626HBのみ



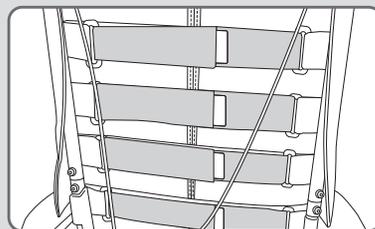
〈制動用ブレーキ〉

KK-T626HBのみ



走行中や坂道で速度を調整する際に使用します。

〈クッション&張り調節ベルト〉 共通



ベルトの張り具合を調節し、使用者の姿勢に合わせることができます。また、厚手のクッションを使用し、快適にお座りいただけます。

組立方法

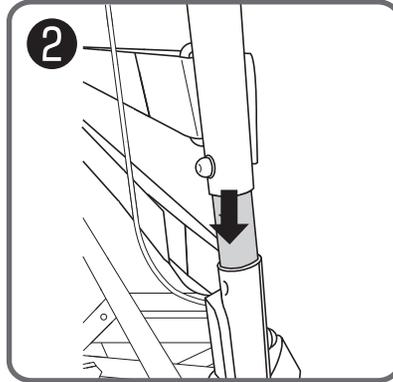
使用工具 ・対辺4mm六角レンチ

※適正トルク
6N・m

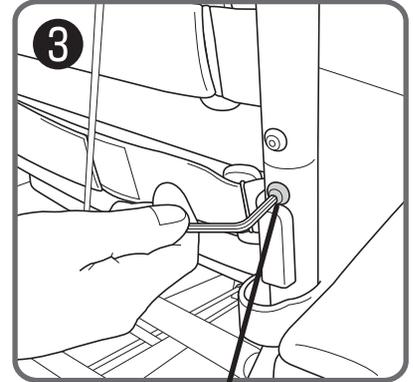
① バックサポートを持ち、矢印方向に起こしてください。



② 左右両側のパイプをゆっくりと同時に挿入します。



③ 付属のボルトを左右共締めてください。



④ バックサポートがぐらついたりしないか、しっかりと固定されていることを確認してください。

⑤ ワイヤが、折れたりねじれたりしないように注意して、組み立ててください。

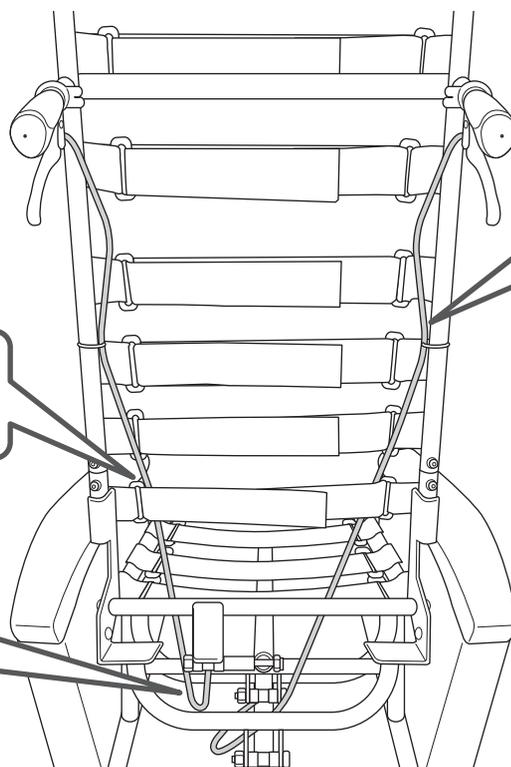
付属のボルト
M6×15

⚠ 注意

●組み立てたバックサポート部がしっかりと固定されているか、必ず確認してください。
(バックサポート部が破損し、転倒・転落事故等の原因になります。)

していただく

※組み立てる際には、リクライニングとティルティングのワイヤの位置を下記のようにしてください。ワイヤ位置が異なると、リクライニング(ティルト)操作した場合にワイヤが引っ張られ、ロックが固定されない場合や、ワイヤを切断する恐れがあります。



バックサポートパイプの内側を通します。

張り調整ベルトの間を通します。

ワイヤのねじれ・折れ曲がりがないか確認します。

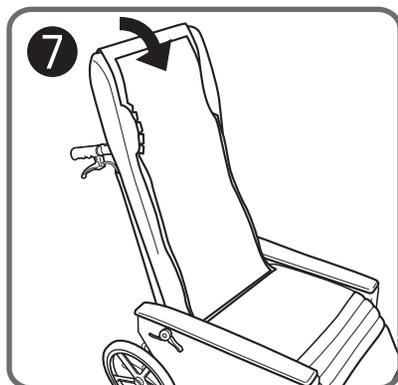
⚠ 注意

●リクライニング(ティルト)操作を行い、ワイヤの挟み込みがないか確認してください。

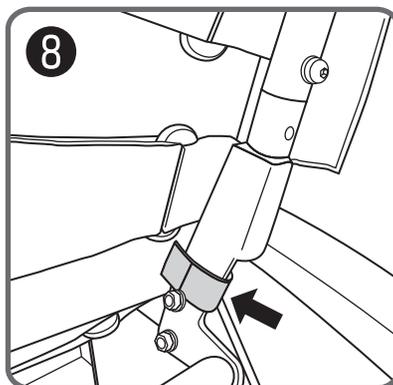
していただく

⑥ p.10を参照して、フットサポートを出してください。

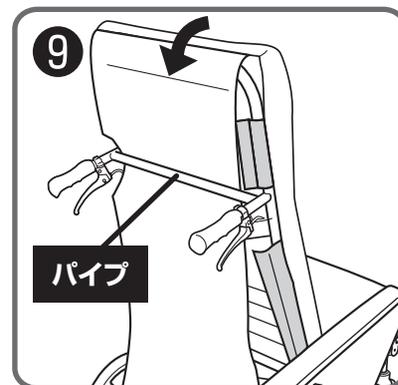
⑦ シートを車椅子に載せてください。
(黒い薄生地は、前側に垂らしてください)



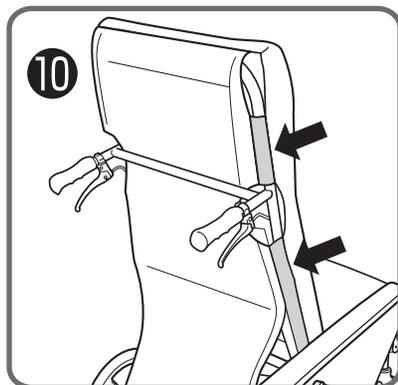
⑧ 背側の面ファスナーを固定してください。(パイプ下の板部分で固定してください)



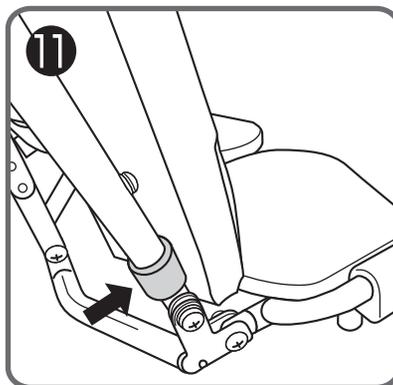
⑨ 前に垂らした黒い薄生地を後方に垂らしてください。(図のようにパイプの内側を通してください)



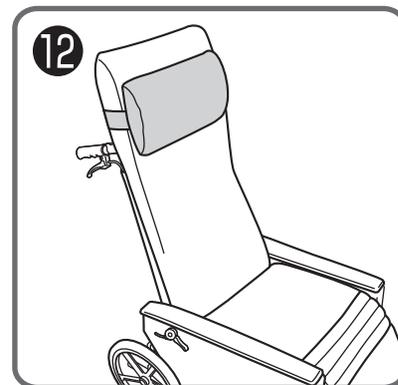
⑩ 背の後側の面ファスナーを左右それぞれ固定してください。



⑪ レッグサポート部の面ファスナーを固定してください。



⑫ 枕を適切な位置にベルトで固定してください。



⑬ ブレーキの効き、各機能、各部の点検を行ってから使用してください。

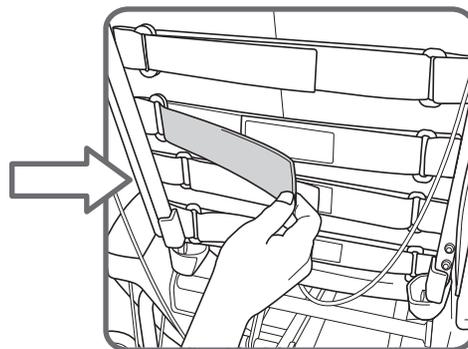
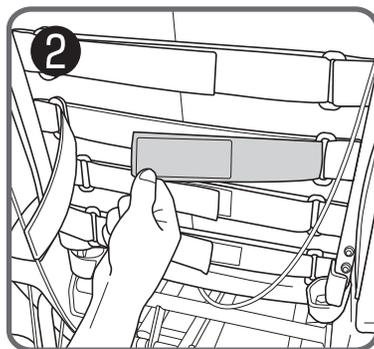
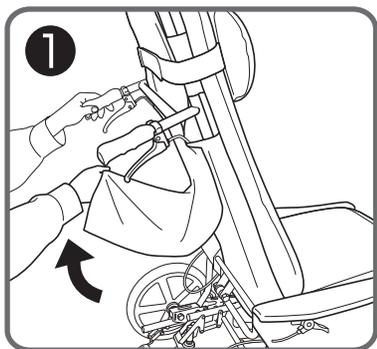
安全にお使いになるための使用方法

張り調整ベルトの調整

- ベルトの張り具合を調整し、使用者の姿勢に合わせることができます。
- 車いすに人を乗せた状態で、張り調整を行うことができます。

① 背シート後側のカバーをめくります。

② 張り具合を1本ずつ調整します。
ベルトは、まず右側を貼り、次に左側を貼ってください。



〈座の調整〉 ●車いすから一度降りていただき調整してください。

- ① クッションをめくります。
- ② 張り具合を調整してください。

⚠ 注意

●ゆるめに張るとフレームと干渉することがありますので、確認してください。

していただく

⚠ 注意

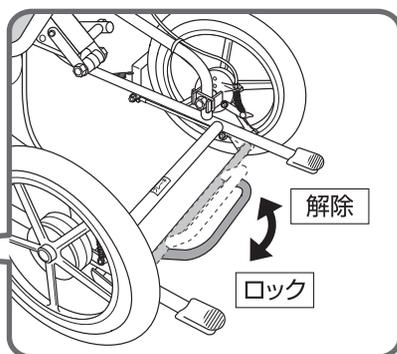
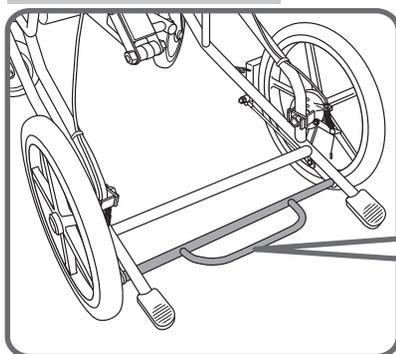
●張り調整ベルトに糸くずや汚れが付いていないか確認し、付いている場合は取り除いてください。
(粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転倒・転落事故等の原因となります。)

していただく

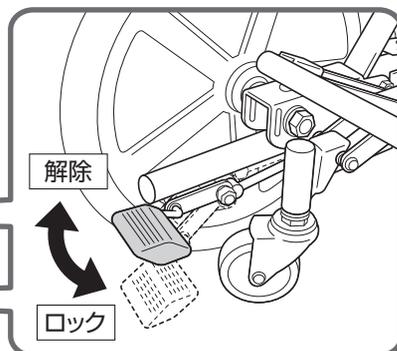
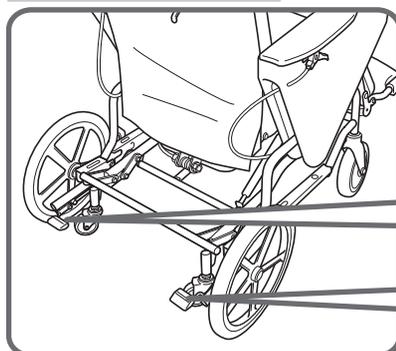
フットブレーキ

●介助者が操作しやすい足踏み式のブレーキです。ペダルを踏み込むとロックします。

〈対応型式：KK-T626HB〉



〈対応型式：KK-T636HB〉



⚠ 警告

●車いすへの乗せ降ろし、ベッドなどへの移乗時には必ずフットブレーキをロックしてください。

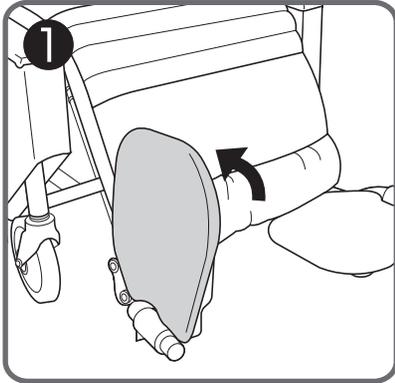
●フットブレーキは必ず左右両方ロックしてください。
(車いすが動き、転倒・転落事故等の原因となります。)

していただく

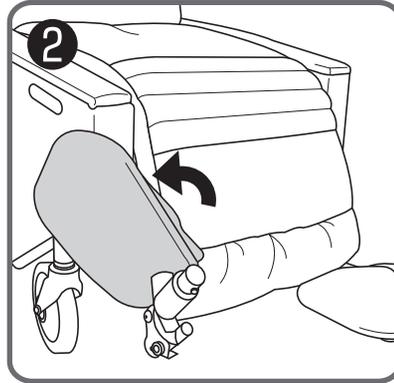
フットサポート

●フットサポートを折りたたむことができるので、介助者の邪魔になりません。

① フットサポートを矢印方向に上げます。



② さらに矢印方向に回転させることができます。



●使用時には逆の手順でフットサポートを出してください。



警告

●車いすへの移乗時に絶対にフットサポートの上で立ち上がらないでください。
(車いすがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因になります。)

してはいけない



注意

●フットサポートは、アームサポートより外側になるようにしてください。アームサポートを上下スライドさせる時に、挟まるときがあり破損の原因になります。

していただく



注意

●フットサポートを折りたたんだ状態で、リクライニング、ティルト操作を行わないでください。

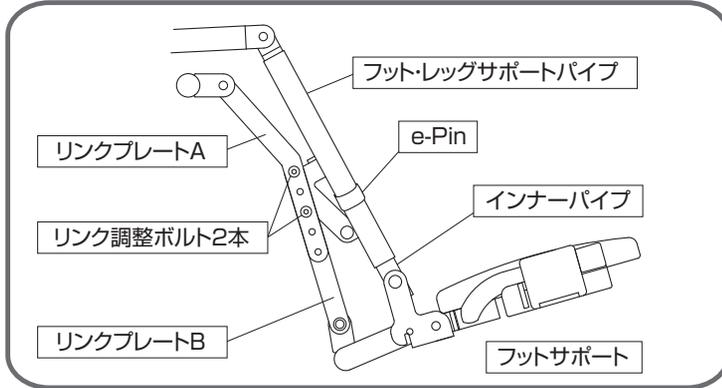
してはいけない

フットサポートの長さ調節

使用工具

・対辺4mm六角レンチ

- フットサポートの長さを325, 345, 365mmの3段階に調整することができます。

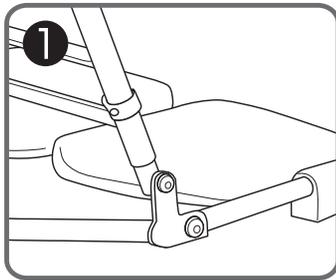


⚠ 注意

- 長さを調節した後、フットサポートがしっかり固定されているか必ず確認してください。
(フットサポートが脱落・破損したり、ケガの原因になります。)

していただく

- 1 e-Pin をパイプから外します。



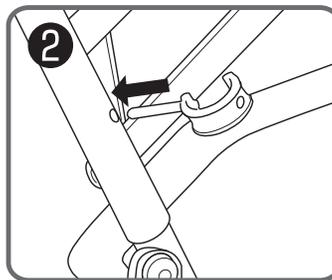
e-Pinの取り外し方



指を引っかけて矢印方向に回転させます。

引き抜きます。

- 2 インナーパイプをスライドさせ長さを調整し、e-Pin を差し込み固定してください。(インナーパイプのスライドは左右同時に行ってください)



e-Pinの取り付け方

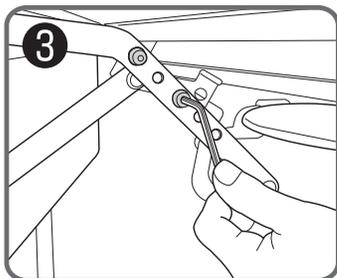


穴にピンを差し込みます。

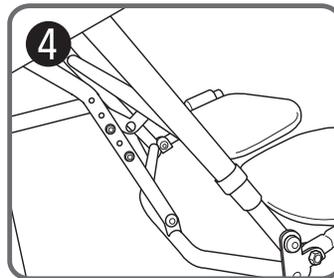
矢印方向に回転させます。

反対側の穴にピンの頭が出ていることを確認します。

- 3 リンク調整ボルトを取り外します。(2本)

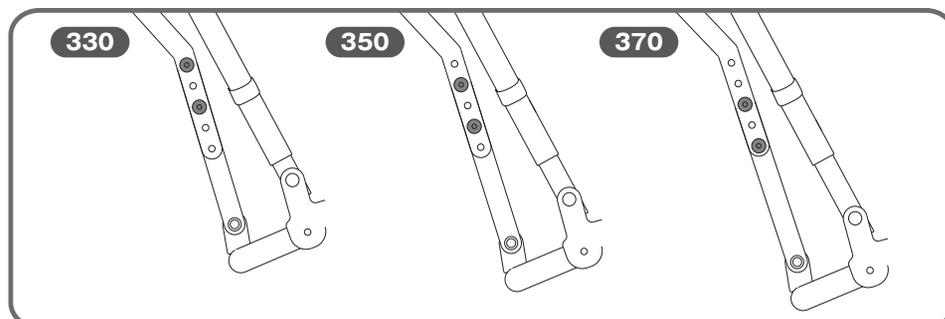


- 4 下のボルト位置の図のようにフットサポートの長さに合わせ、リンクの長さを調整しボルトを締めます。(2本)



※適正トルク
6N・m

〈ボルト位置〉



アームサポート

- ベッドなどへの移乗の際には、座面と同じ高さにアームサポートを下げることで、介助を楽に行うことができます。



警告

- アームサポートのロックが確実にされていることを確認してください。
(アームサポートの高さが急に変わり、手などはさんだり、転落事故等の原因になります。)

していただく



注意

- 車いすに人が乗っている状態でアームサポートの高さ調整を行う場合には、手や衣服などはさまっていないか確認しながら操作してください。(手や足などケガをする恐れがあります。)

していただく



注意

- 片方の手でアームサポートを支え、もう一方の手でレバー操作してください。
(アームサポートが下がり、手や足などはさみケガをする恐れがあります。)

していただく



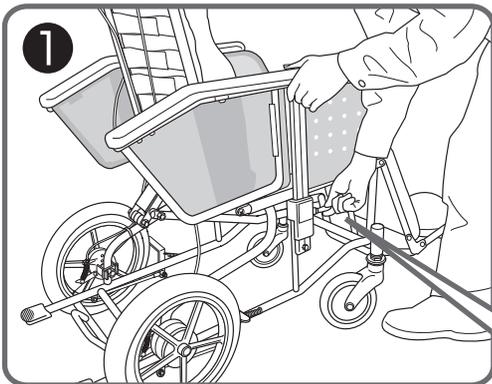
注意

- アームサポートを持って車いすを移動しないでください。
(アームサポートが破損する原因になります。)

してはいけない

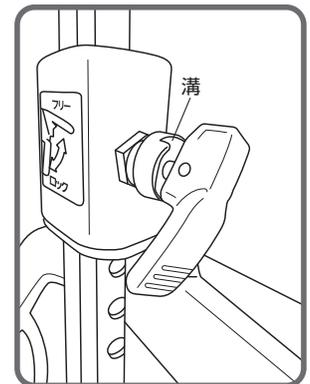
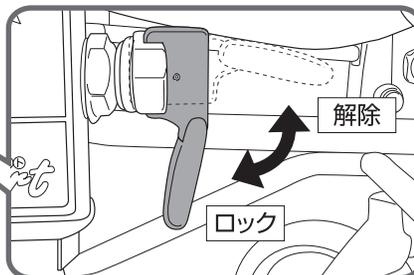
〈対応型式：KK-T626HB〉

- アームサポートの高さを30,230,250,270,290mmの5段階に調整することができます。



- ① 片方の手でアームサポートを持ちながら、ロックを解除してください。

- ② アームサポートを適当な高さにして、ロックしてください。
- ③ アームサポートを上下に動かし、ロックがされていることを確認してください。

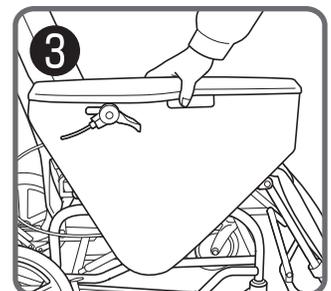
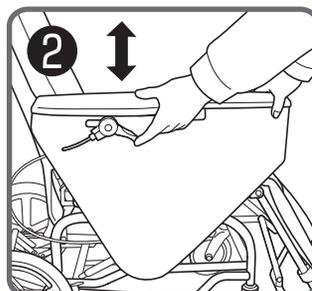
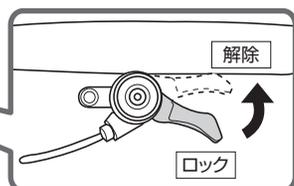
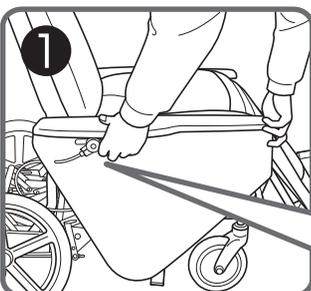


このような状態ではロックが掛かっていません。ロックレバーを回転させ、溝にはめてください。

〈対応型式：KK-T636HB〉

- アームサポートの高さを60～310mmまで11段階（25mmピッチ）に調整することができます。

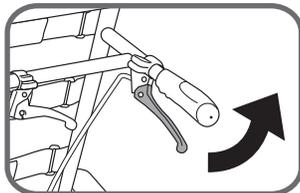
- ① 片方の手でアームサポートを持ち、もう一方の手でレバーを矢印方向に上げてください。
- ② アームサポートを適当な位置に上げ(下げ)レバーを離してゆっくりとアームサポートを下げ(上げ)ると「カチッ」と音がしてロックします。
- ③ アームサポートを上下に動かし、ロックしていることを確認してください。



制動用ブレーキ

〈対応型式：KK-T626HB〉

- ブレーキレバーを握るとブレーキがかかります。
- ブレーキレバーを離すと解除します。



介助者の方が走行中や下り坂での速度減速及び停止して、ご使用ください。

⚠ 注意

- 介助者の方は制動用ブレーキレバーを両側同時にかけてください。
(バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。)

していただく

⚠ 注意

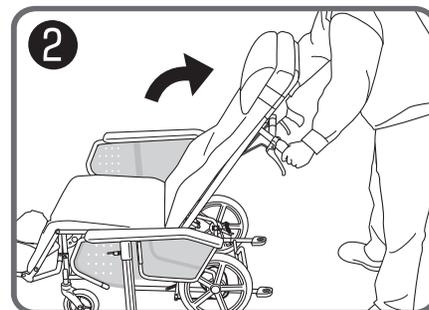
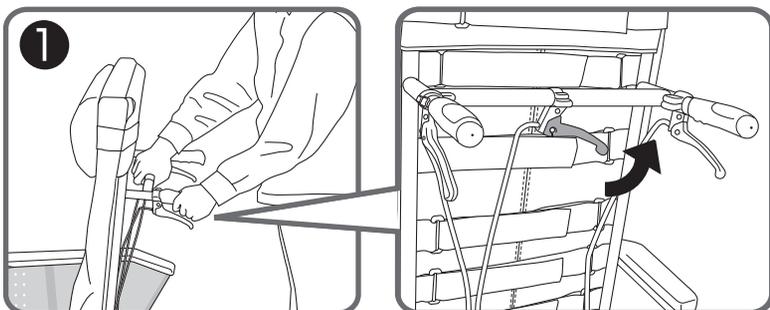
- 急ブレーキをかけないでください。
(車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。)

してはいけない

リクライニングの操作方法

〈対応型式：KK-T626HB〉

- バックサポートの角度を0~70°(座面に対して100~170°)の範囲で無段階に変更することができます。
- ①片手でグリップをしっかりと持ち、もう一方の手でリクライニングレバーを握ります。
 - ②適当な角度に倒し(起こし)リクライニングレバーを離すとその位置で固定します。



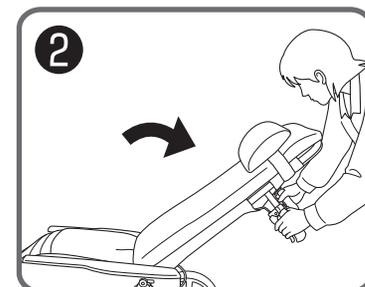
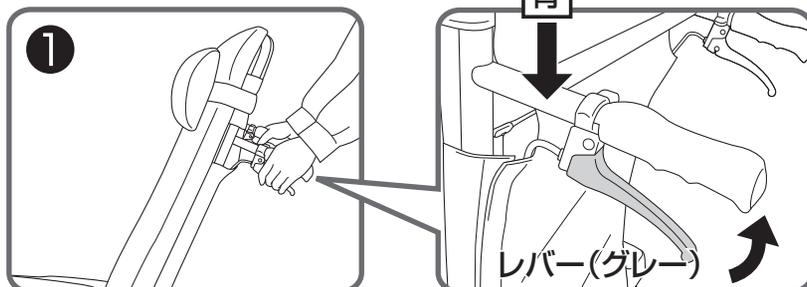
⚠ 注意

- 車いすに人が乗っている状態でリクライニング操作を行うときには、乗っている方の体重が後方にかかるので、しっかりと支えてから行ってください。
(バックサポートパイプなどで、介助者の顔などを打ったり、車いすが後方に転倒し、ケガをする危険があります。)

していただく

〈対応型式：KK-T636HB〉

- バックサポートの角度を0~74°(座面に対して100~174°)の範囲で無段階に変更することができます。
- ①グリップをしっかりと持ち、左側のリクライニングレバーを握ります。
 - ②適当な角度に倒し(起こし)リクライニングレバーを離すとその位置で固定します。



⚠ 警告

- 車いすに人が乗っている状態で、リクライニング操作又はティルティング操作を行うときには、アームサポートと、シート(背)シート(座)の間のできるすき間に、身体や衣服などが、はさまらないように注意して操作してください。
(身体をはさみケガをする恐れがあります。)

していただく

⚠ 注意

- 介助者の方は、人が乗った状態でリクライニングしたまま、放置しないでください。

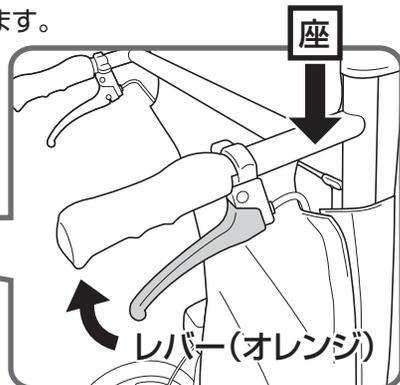
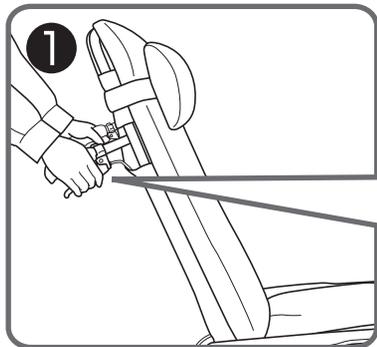
してはいけない

ティルティングの操作方法

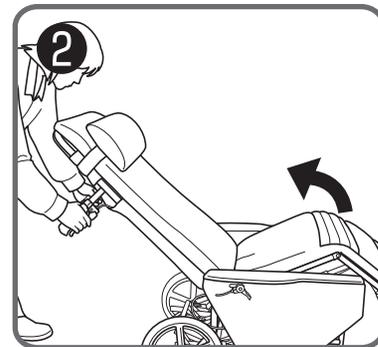
〈対応型式：KK-T636HB〉

●座面の角度を0～30°の範囲で無段階に変更することができます。

① グリップをしっかりと持ち、右側のティルティングレバーを握ります。



② 適当な角度に倒し(起こし)ティルティングレバーを離すとその位置で固定します。



⚠ 注意

- 車いすに人が乗っていない状態でティルティング操作を行うと、ティルティングレバーを握るだけで、バックサポートが自動的に起き上がりますので、注意して操作してください。(バックサポートパイプなどで、介助者の顔などを打ちケガをする危険があります。)
- また、倒す操作を行うと、非常に重くなりますが、勢いをつけず、ゆっくり確実に支えて操作してください。(キャストが浮き、後方に転倒する場合があります。)

していただく

⚠ 警告

- 車いすに人が乗っている状態で、リクライニング操作、又はティルティング操作を行うときは、アームサポートと、シート(背)シート(座)の間にできるすき間に、身体や衣服などが、はさまらないように注意して操作してください。(身体をはさみケガをする恐れがあります。)

していただく

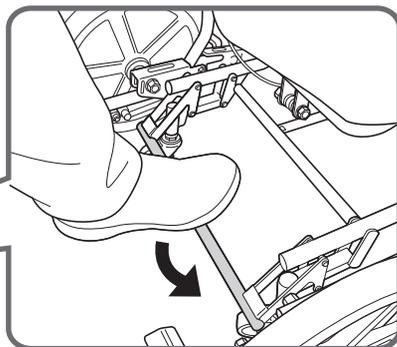
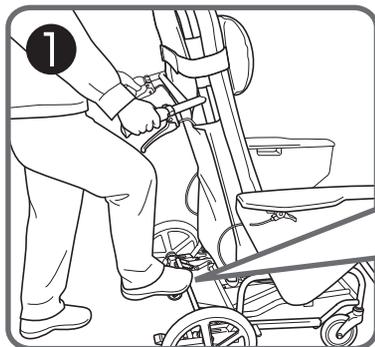
リフトアップの操作方法

〈対応型式：KK-T636HB〉

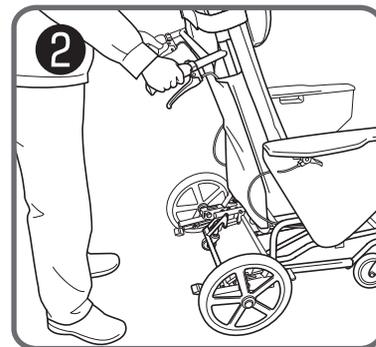
- 主輪を浮かせることで、真横にも移動することができます。ベッドなどへの移乗の際に、何度も繰り返す必要がありません。また、狭いスペースでも小回りが効きます。

〈上げ方〉

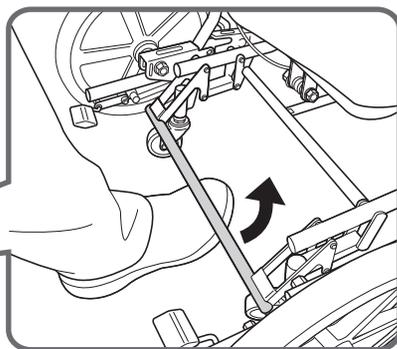
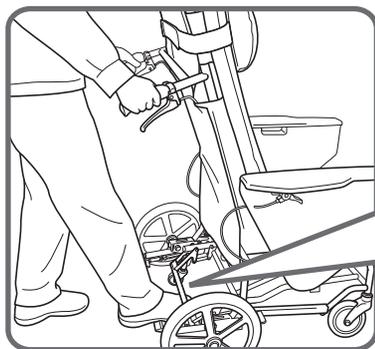
- ① グリップを持ち、車いすが動かないようにしながら、リフトアップバーを踏み込みます。



- ② 主輪が浮いたことを確認し、移動してください。



〈下げ方〉



- 戻す時も、車いすが動かないように、グリップを持ち、リフトアップバーを上げてください。

⚠ 注意

- リフトアップ操作時には車いすから手を離さないようにしてください。(車いすが動き危険です。)

していただく

⚠ 注意

- リフトアップした場合には、フットブレーキがロックされていても、主輪が浮いているため車いすが動きます。人の乗せ降ろしなどの場合には、リフトアップを戻し車いすが動かないことを確認してから行ってください。

していただく

⚠ 注意

- ブレーキペダルとリフトアップバーを間違えないように注意してください。(リフトアップ操作時にはブレーキが効かず車いすが動きます。)

していただく

⚠ 注意

- アームサポートを持って車いすを移動しないでください。(アームサポートが破損する原因になります。)

してはいけない

⚠ 警告

- リフトアップした状態で、車いすへの乗せ降ろし、ベッドなどへの移乗はしないでください。(リフトアップ操作時には、フットブレーキがロックされていても、主輪が浮いているため、車いすが動きます。)

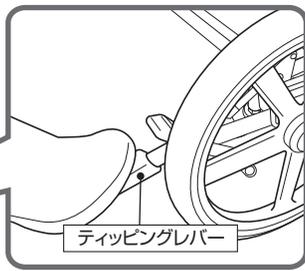
してはいけない

使用方法

介助の方法

2～5cmの段差を乗り越える場合

① ティッピングレバーを踏みグリップを押し下げ
キャストを上げてください。



② キャスタを段差に乗せて
ください。



③ 主輪を浮かし乗り越えて
ください。



注意

- バックサポートを起こしてから段差を乗り越えるようにしてください。
(乗っている方がバランスを崩し、車いすから転落する危険があります。)

していただく



注意

- スピードをつけて(勢いをつけて)、段差を乗り越えないでください。
(乗っている方がバランスを崩し、車いすから転落する危険があります。)

してはいけない



注意

- バックサポートパイプやグリップのみで、キャストを上げないでください。
(バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、車いすが破損し、転倒・転落事故等の原因となります。)

してはいけない

5cm以上の段差の場合

乗っている方を車いすから降ろし、車いすのみを2人以上でフレーム固定部を持って持ち上げ移動するようにしてください。

その他の注意事項



注意

- 乗り降り、駐車は平坦な場所で行ってください。
(車いすが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。)

していただく



注意

- 車いすで荷物を運んだりしないでください。

してはいけない

車いすをご使用中に「故障かな」と思われるトラブルが発生した場合、修理を依頼する前に下記項目を確認してください。

もしこんなトラブルが発生したときは

トラブル	確認点	対処(参照ページ)
真っすぐに走らない	キャスト(前輪)、主輪はなめらかに回転しますか	糸くずや髪の毛などが巻ついている場合は取りのぞいてください
	キャスト(前輪)が片べりしていませんか	販売店またはパラテクノコールセンター(P.20参照)までお問い合わせください
走行操作が重い	キャスト(前輪)、主輪はなめらかに回転しますか	糸くずや髪の毛などが巻ついている場合は取りのぞいてください
ブレーキが効かない	タイヤが摩耗していませんか	販売店またはパラテクノコールセンター(P.20参照)までお問い合わせください
	リフトアップしていませんか (KK-T636HBのみ)	リフトアップした場合はブレーキが効きません。リフトアップを解除してください(P.15)
リクライニング操作ができない	ワイヤーのねじれ、引っかかりがありませんか	ワイヤーのねじれ、引っかかりを直してください
	使用者の体や小物などがはさまっていませんか	取り除いてください
ティルト操作ができない (KK-T636HBのみ)	ワイヤーのねじれ、引っかかりがありませんか	ワイヤーのねじれ、引っかかりを直してください
	使用者の体や小物などがはさまっていませんか	取り除いてください
	車いすに人を乗せていますか	車いすに人を乗せていない状態では、操作が重くなります(P.14)

■異常、故障のある際は、直ちに使用を中止してください。

車いすのお手入れの方法

- 清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。
揮発性剤(シンナー・ベンジン・アルコール類)では、清掃しないでください。
変色したり、劣化の原因となります。
ホースなどで、直接水をかけないでください。
車輪及びフレーム内部・ブレーキ部等に水滴が残り、錆の原因となります。
- タイヤには、ひび割れを防ぐ為に老化防止剤が配合されていますので、次のような環境及び薬剤はさけてください。
タイヤの劣化を促進させ、ひび割れの発生原因となります。

- オゾン(O₃)
- 光線(日光)、熱・伸張等の機械的作用
- 銅・マンガンのような金属の塩、石鹼などの容易に酸化される物質
- シリコン系ワックス(自動車タイヤ用ツヤ出し剤、潤滑剤(錆落とし含む))

- 車いすに異常がある場合は、パラテクノコールセンター(P.20 参照)まで、お問い合わせください。
その状態で使用されますと、使用中に破損し、事故の原因となります。

- タイヤの劣化・ひび割れ
- ボルト・ナット・ビスの緩み
- 主輪・キャストの変形
- 各部固定部品の変形
- フレームのひび割れ・曲がり・ガタつき
- 制動用ブレーキ・フットブレーキの効き具合

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ
- 直射日光が当たるようなところ
- 湿気の多いところ
- 高温室になるところ
- 炎天下なところ



注意

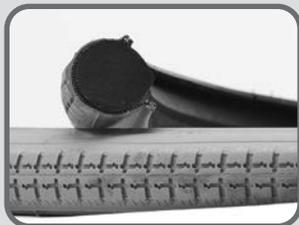
- 保管する場所には十分注意してください。
長期間使用しなかった場合には、各部の点検をしてから使用してください。

していただく

空気圧管理不要タイヤメンテナンス方法

空気圧管理不要タイヤ

〈ハイブリッドタイヤ〉



安全にご使用していただくため、次の確認をお願いします。

- ・タイヤ表面の摩耗・亀裂。
- ・スムーズな回転、異音 等。
- ・車輪のホイールの傷の有無。
- ・駐車用ブレーキでロックした際、駆動輪・主輪は回転しないか。
- ・スポークの緩み、損傷 等。

※空気圧管理不要タイヤの交換目安は、お買い上げ後2カ年です。
(使用環境、使用頻度、使用状況による。)

※空気管理不要タイヤには、ウレタン素材を使用している物があります。
この素材は、水と反応し分解する(加水分解)性質があり、その結果タイヤのヒビワレ、
表面の剥離など発生する場合があります。メンテナンスの際には、十分に水分を拭き取ったあと
風通しの良い日陰でよく乾燥させてください。(直射日光は避けてください。)

※保管時にも、高温多湿、雨、直射日光に注意してください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。
- ・地球環境のため、放置はしないでください。

アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は、この取扱説明書の裏表紙についておりますので、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の「もし、こんなトラブルが発生したときは」（17ページ参照）に従って調べてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は1ページ参照）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

タイヤ・シート・ブレーキ・制動用ブレーキ用ワイヤー・ブレーキゴム・ガススプリングなどは消耗部品です。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこの車いすの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

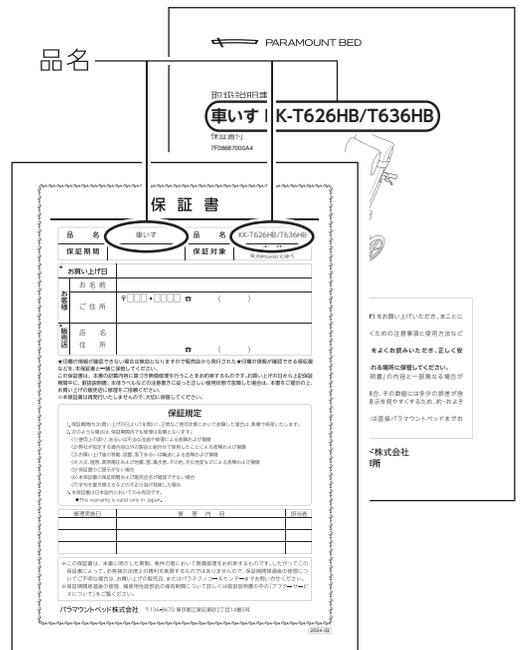
パラテクノコールセンター ☎ 0120-54-8639

受付時間：平日8:00～18:00／土・日・祝日9:00～17:00（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

パラマウントベッド株式会社

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎(048)878-0100(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町223番1	☎(087)881-8900(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)



保証書

品名	車いす	品名	KK-T626HB/T636HB
保証期間	1年間	保証対象	本体 ※消耗部品を除く

★ お買い上げ日		
お客様	お名前	
	ご住所	〒□□□ - □□□□ ☎ ()
★ 販売店	店名	
	住所	☎ ()

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
 - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号